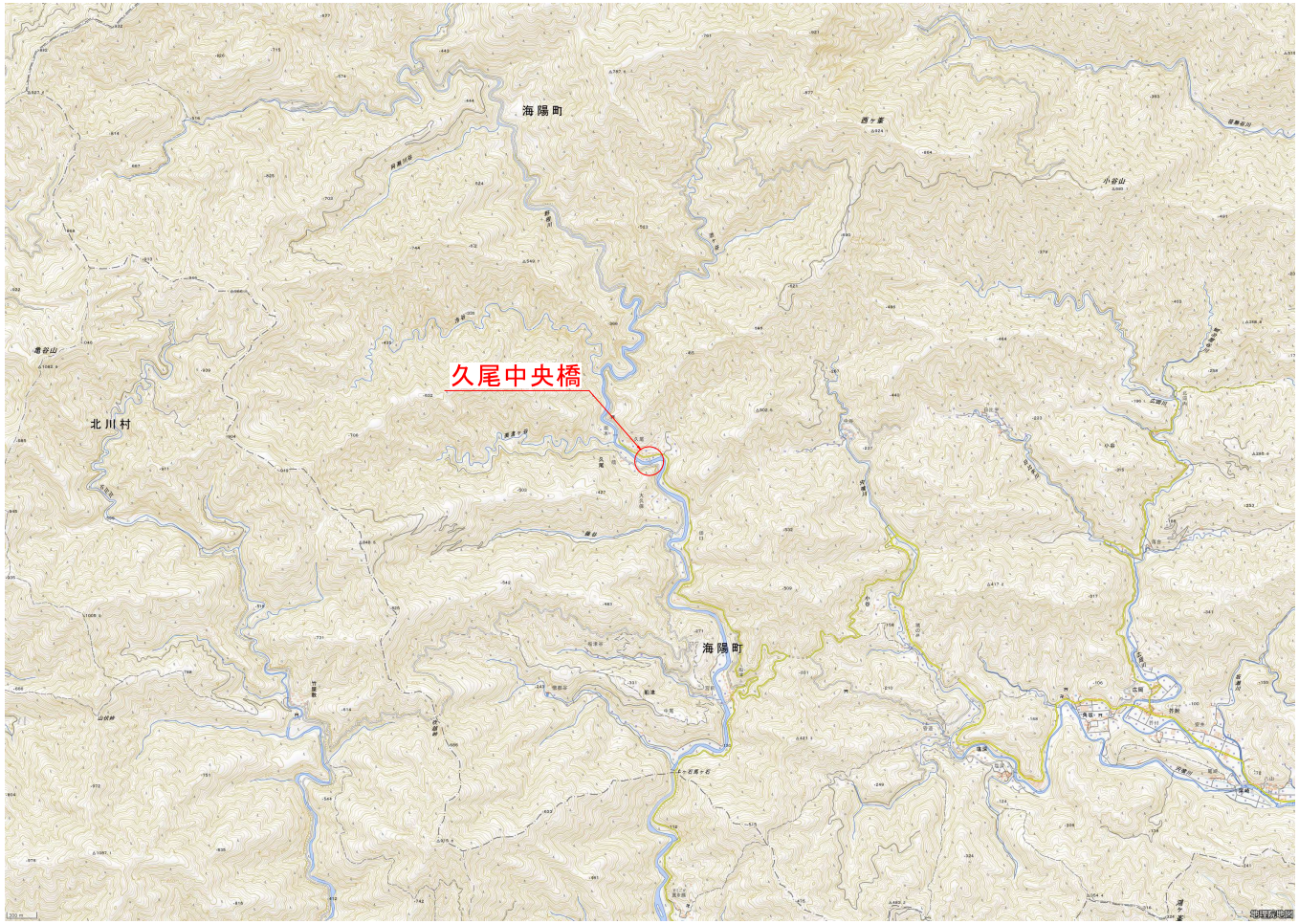
久尾中央橋

橋梁位置図 S=1:25000

（久尾中央橋）



出典：国土地理院発行2.5万分の1地形図 電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

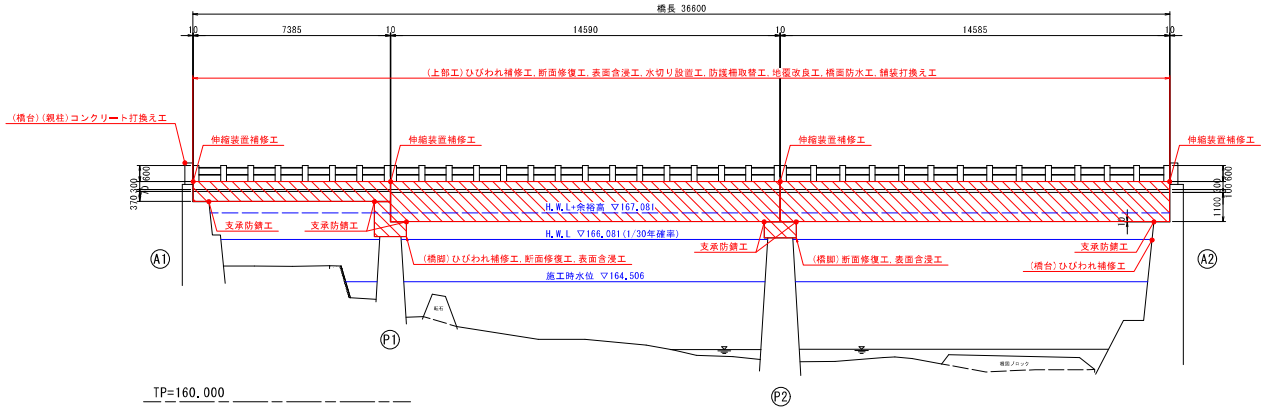
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	橋梁位置図		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

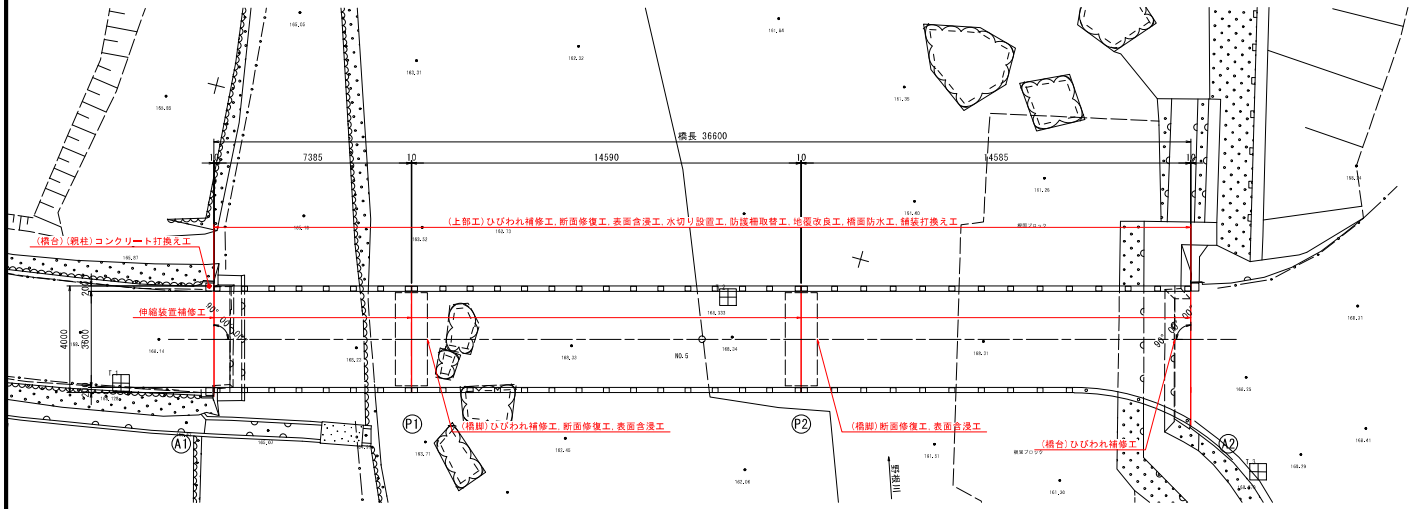
補修一般図 S=1:100

（久尾中央橋）

側面図



平面図



【補修工法一覧表】

項目	補修工法	対象部材
上部工補修	ひびわれ補修工	主桁，横桁，床版
	断面修復工	主桁，横桁，床版
	表面含浸工	主桁，横桁，床版，地覆部
	水切り設置工	床版
	支承防錆工	支承部

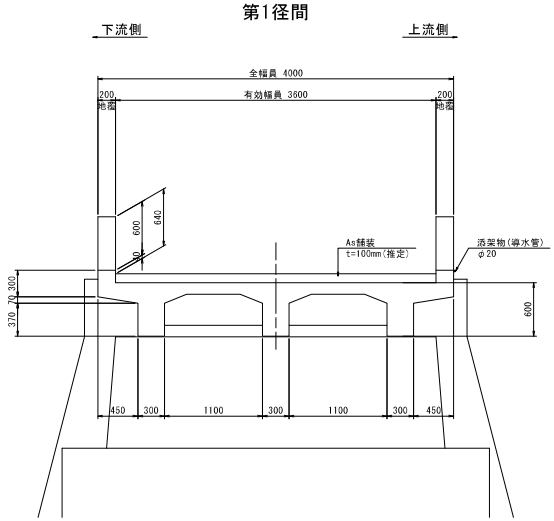
項目	補修工法	対象部材
下部工補修	ひびわれ補修工	P1橋脚
	断面修復工	P1橋脚 P2橋脚
	表面含浸工	P1，P2橋脚梁部
	コンクリート打換え工	A1橋台袖擁壁

項目	補修工法	対象部材
付属物補修	伸縮装置補修工	伸縮部
	防護柵取替工	防護柵
	地覆改良工	地覆部
	橋面防水工，舗装打換え工	橋面
	コンクリート打換え工	親柱

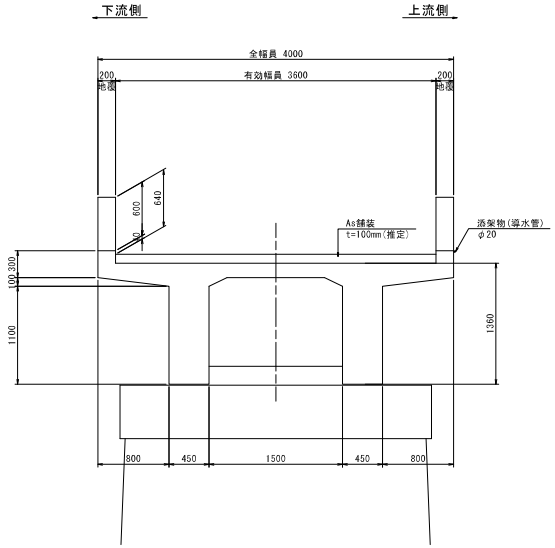
上部工断面図

補修前

第1径間

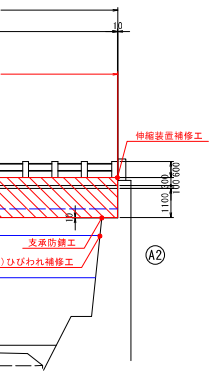


第2・3径間

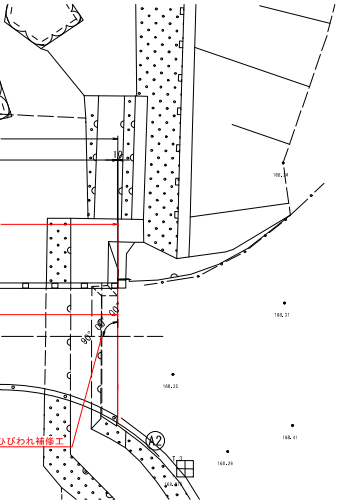


補修一般図 S=1:100

（久尾中央橋）





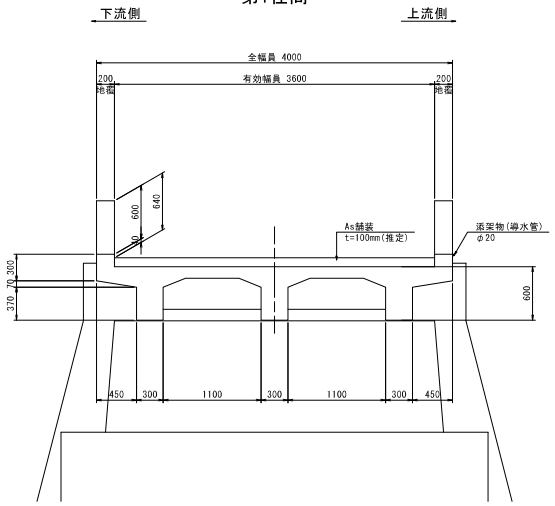


	補修工法	対象部材
	伸縮装置補修工	伸縮部
	防護柵取替工	防護柵
	地覆改良工	地覆部
	橋面防水工，舗装打換え工	橋面
	コンクリート打換え工	親柱

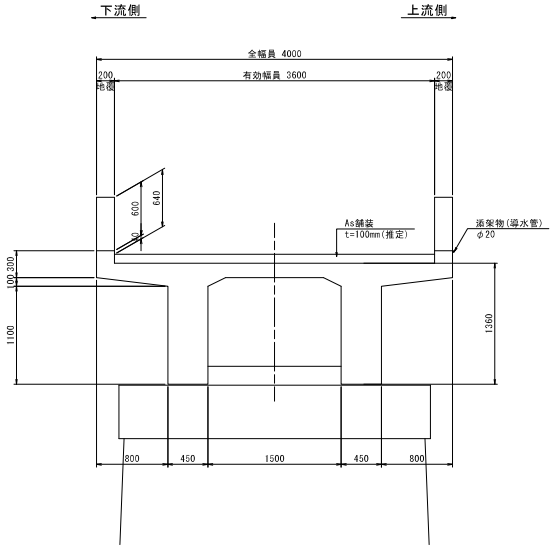
上部工断面図 S=1:30

補修前

第1径間

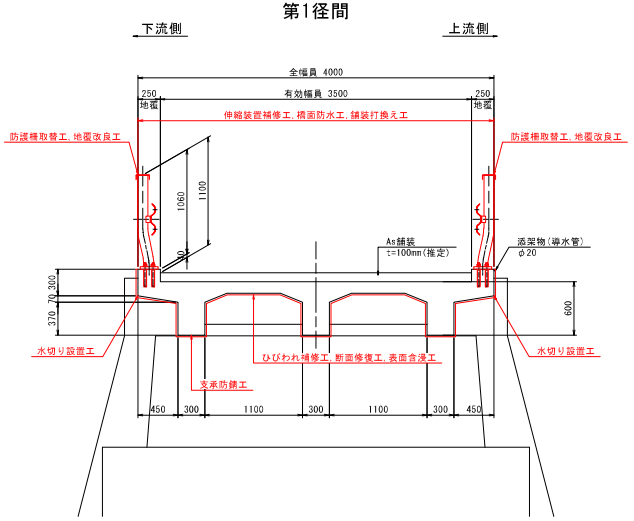


第2・3径間

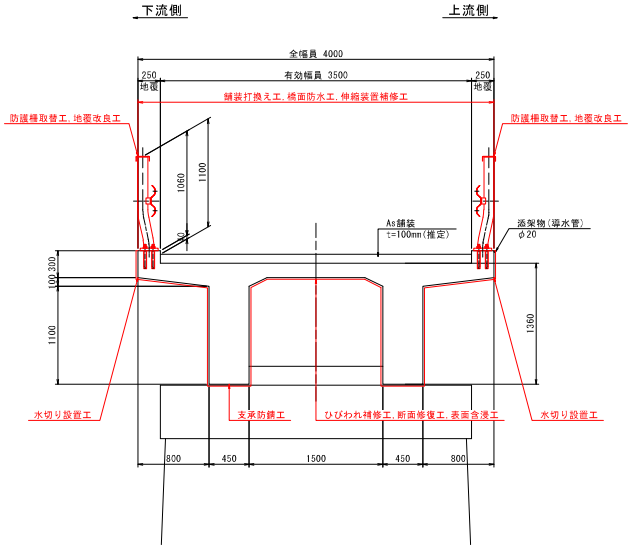


補修後

第1径間



第2・3径間



基本条件		
路線名		町道吹越線
架橋位置		徳島県海部郡海陽町久尾字久尾
橋梁名		久尾中央橋
交差条件		二級河川 野根川水系 野根川（徳島県管理）
供用開始		1963年[S38年]
適用示方書		昭和31年
耐荷荷重		TL-14・2等橋
占用物件		あり（水道）
構造概要		
橋長		36.60m
桁長		7.385m+14.590m+14.585m
斜角		90° 00′ 00″
幅員構成	全幅員	4.00m
	有効幅員	3.60m（両側地覆H=0.20m）
構造形式	上部工形式	単純RCT桁橋3連
	下部工形式	半重力式橋台、T型橋脚柱小判型
	基礎工形式	橋台：不明　橋脚：不明
	舗装	As舗装 t=100mm(推定)
補修工事及び点検履歴		
点検履歴		2021年：定期点検
		2016年：定期点検

注）地覆側面の上流側には導水管（φ20）が添架されている
（生活用水として利用）
補修工事に先立ち、利用者へ確認のうえ、添架位置
の付替えを行うこと。
一上部工補修時：地覆側面
一地覆打換え時：張出床版下面

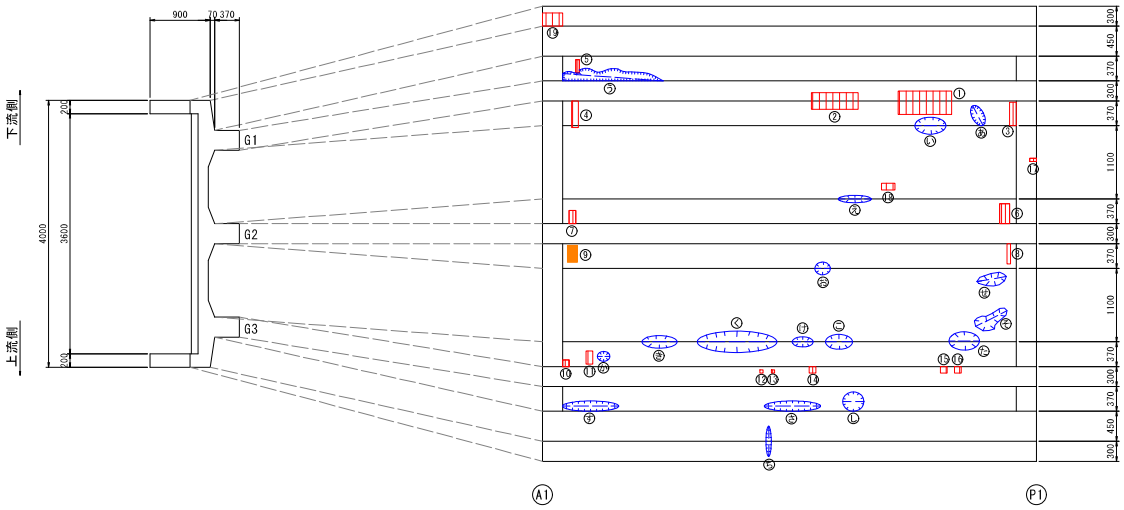
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	補修一般図		
縮尺	1:100	図面番号	2 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

上部工補修詳細図（その1） S=1:40

（久尾中央橋）

（第1径間）ひびわれ充填工，断面修復工



ひびわれ充填工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】
主桁0101	あ	遊離石灰	ー	350
主桁0101	い	遊離石灰	ー	500
主桁0101	う	遊離石灰	ー	1550
主桁0201	え	遊離石灰	ー	500
主桁0201	お	遊離石灰	ー	250
主桁0301	か	遊離石灰	ー	200
主桁0301	き	遊離石灰	ー	550
主桁0301	く	遊離石灰	ー	1200
主桁0301	け	遊離石灰	ー	350
主桁0301	こ	遊離石灰	ー	450
主桁0301	さ	遊離石灰	ー	850
主桁0301	し	遊離石灰	ー	350
主桁0301	す	遊離石灰	ー	850
床版0301	せ	遊離石灰	ー	450
床版0301	そ	遊離石灰	ー	550
床版0301	た	遊離石灰	ー	500
地覆0201	ち	遊離石灰	ー	450

断面修復工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】	深さt【mm】	面積A【m2】	体積V【m3】
主桁0101	1	鉄筋露出	800	350	100	0.2800	0.0280
主桁0101	2	鉄筋露出	700	250	100	0.1750	0.0175
主桁0101	3	鉄筋露出	350	100	100	0.0350	0.0035
主桁0101	4	鉄筋露出	100	400	100	0.0400	0.0040
主桁0101	5	鉄筋露出	200	50	100	0.0100	0.0010
主桁0201	6	鉄筋露出	300	150	100	0.0450	0.0045
主桁0201	7	鉄筋露出	200	100	100	0.0200	0.0020
主桁0201	8	鉄筋露出	50	300	100	0.0150	0.0015
主桁0201	9	うき	150	250	100	0.0375	0.0038
主桁0301	10	鉄筋露出	100	100	100	0.0100	0.0010
主桁0301	11	鉄筋露出	100	200	100	0.0200	0.0020
主桁0301	12	鉄筋露出	50	50	100	0.0025	0.0003
主桁0301	13	鉄筋露出	50	50	100	0.0025	0.0003
主桁0301	14	鉄筋露出	100	100	100	0.0100	0.0010
主桁0301	15	鉄筋露出	100	100	100	0.0100	0.0010
主桁0301	16	鉄筋露出	100	100	100	0.0100	0.0010
横桁0102	17	鉄筋露出	100	50	100	0.0050	0.0005
床版0201	18	鉄筋露出	200	100	70	0.0200	0.0014
地覆0101	19	鉄筋露出	300	200	50	0.0600	0.0030

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		鉄筋露出		豆板	

【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	上部工補修詳細図（その1）		
縮尺	1:40	図面番号	3 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

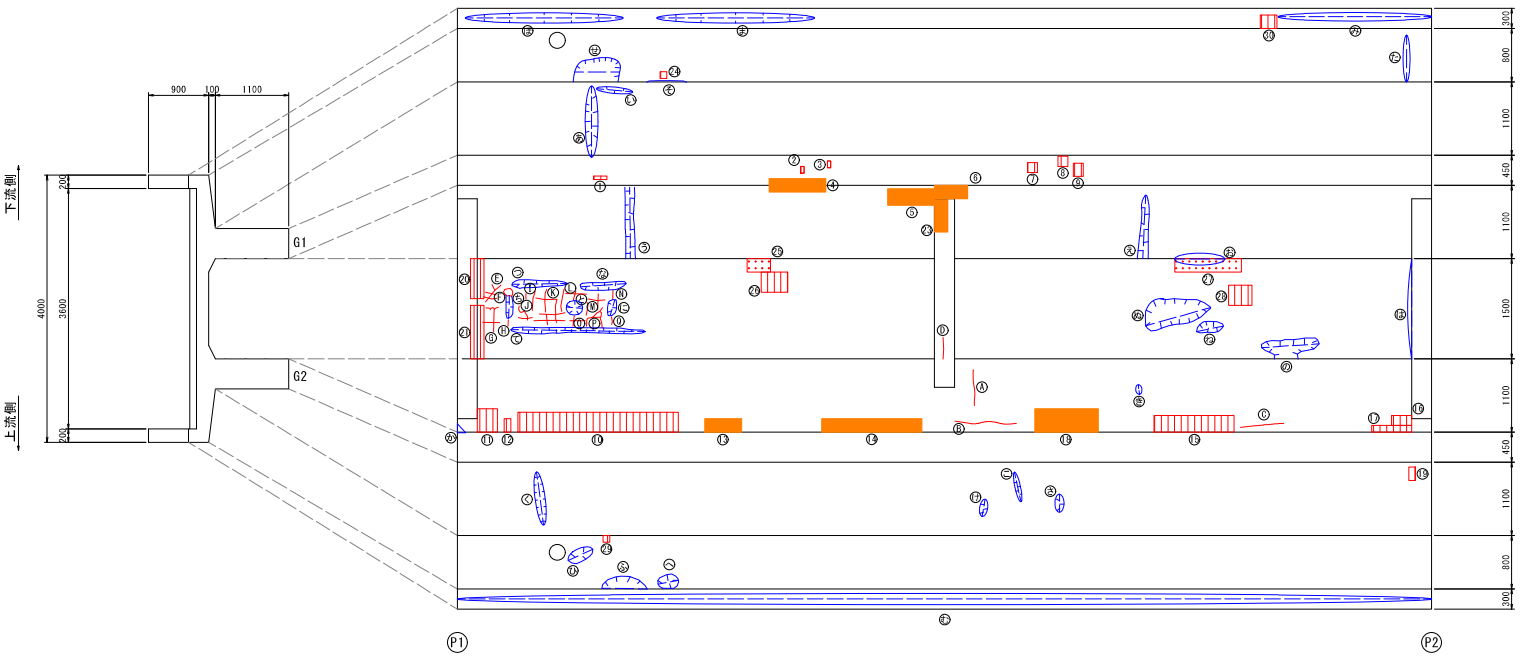
上部工補修詳細図（その2） S=1:40

（久尾中央橋）

（第2径間）ひびわれ注入工，ひびわれ充填工，断面修復工

横桁0101
端横桁（P1）

横桁0103
端横桁（P2）



ひびわれ注入工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【m】
主桁0202	A	ひびわれ	0.2	550
主桁0202	B	ひびわれ	0.3	950
主桁0202	C	ひびわれ	0.2	650
横桁0102	D	ひびわれ	0.5	350
床版0201	E	ひびわれ	0.2	850
床版0201	F	ひびわれ	0.2	450
床版0201	G	ひびわれ	0.2	850
床版0201	H	ひびわれ	0.2	100
床版0201	I	ひびわれ	0.2	400
床版0201	J	ひびわれ	0.2	550
床版0201	K	ひびわれ	0.2	2050
床版0201	L	ひびわれ	0.2	850
床版0201	M	ひびわれ	0.2	700
床版0201	N	ひびわれ	0.2	150
床版0201	O	ひびわれ	0.2	400
床版0201	P	ひびわれ	0.2	800
床版0201	Q	ひびわれ	0.2	150

ひびわれ充填工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【m】
主桁0101	あ	遊離石灰	—	1100
主桁0101	い	遊離石灰	—	550
主桁0101	う	遊離石灰	—	1100
主桁0102	え	遊離石灰	—	1000
主桁0102	お	遊離石灰	—	750
主桁0201	か	遊離石灰	—	200
主桁0202	き	遊離石灰	—	150
主桁0202	く	遊離石灰	—	800
主桁0202	け	遊離石灰	—	300
主桁0202	こ	遊離石灰	—	500
主桁0202	さ	遊離石灰	—	300
横桁0101	し	遊離石灰	—	200
横桁0103	す	遊離石灰	—	1900
床版0101	せ	遊離石灰	—	700
床版0101	そ	遊離石灰	—	600
床版0101	た	遊離石灰	—	700
床版0201	ち	遊離石灰	—	350
床版0201	つ	遊離石灰	—	850
床版0201	て	遊離石灰	—	2050
床版0201	と	遊離石灰	—	250
床版0201	な	遊離石灰	—	700
床版0201	に	遊離石灰	—	250
床版0201	ぬ	遊離石灰	—	1050
床版0201	ね	遊離石灰	—	450
床版0201	の	遊離石灰	—	900
床版0201	は	遊離石灰	—	1500
床版0301	ひ	遊離石灰	—	450
床版0301	ふ	遊離石灰	—	700
床版0301	へ	遊離石灰	—	350
地覆0101	ほ	遊離石灰	—	2400
地覆0101	ま	遊離石灰	—	2400
地覆0101	み	遊離石灰	—	2300
地覆0201	む	遊離石灰	—	14600

断面修復工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】	深さt【mm】	面積A【m2】	体積V【m3】
主桁0101	1	鉄筋露出	200	50	100	0.0100	0.0010
主桁0101	2	鉄筋露出	50	100	100	0.0050	0.0005
主桁0101	3	鉄筋露出	50	100	100	0.0050	0.0005
主桁0101	4	うき	850	200	100	0.1700	0.0170
主桁0101	5	うき	700	250	100	0.1750	0.0175
主桁0101	6	うき	500	200	100	0.1000	0.0100
主桁0102	7	鉄筋露出	150	150	100	0.0225	0.0023
主桁0102	8	鉄筋露出	150	150	100	0.0225	0.0023
主桁0102	9	鉄筋露出	200	150	100	0.0300	0.0030
主桁0201	10	鉄筋露出	2400	300	100	0.7200	0.0720
主桁0201	11	鉄筋露出	300	350	100	0.1050	0.0105
主桁0201	12	鉄筋露出	200	100	100	0.0200	0.0020
主桁0201	13	うき	200	550	100	0.1100	0.0110
主桁0201	14	うき	1500	200	100	0.3000	0.0300
主桁0202	15	鉄筋露出	1200	250	100	0.3000	0.0300
主桁0202	16	鉄筋露出	300	150	100	0.0450	0.0045
主桁0202	17	鉄筋露出	600	100	100	0.0600	0.0060
主桁0202	18	うき	950	350	100	0.3325	0.0333
主桁0202	19	鉄筋露出	200	100	100	0.0200	0.0020
横桁0101	20	鉄筋露出	200	600	100	0.1200	0.0120
横桁0101	21	鉄筋露出	200	800	100	0.1600	0.0160
横桁0101	22	鉄筋露出	200	400	100	0.0800	0.0080
横桁0102	23	うき	200	500	100	0.1000	0.0100
床版0101	24	鉄筋露出	100	100	70	0.0100	0.0007
床版0201	25	豆板	350	200	70	0.0700	0.0049
床版0201	26	鉄筋露出	300	400	70	0.1200	0.0084
床版0202	27	豆板	1000	200	70	0.2000	0.0140
床版0202	28	鉄筋露出	300	350	70	0.1050	0.0074
床版0301	29	鉄筋露出	100	100	70	0.0100	0.0007
地覆0101	30	鉄筋露出	200	250	50	0.0500	0.0025

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		鉄筋露出		豆板	

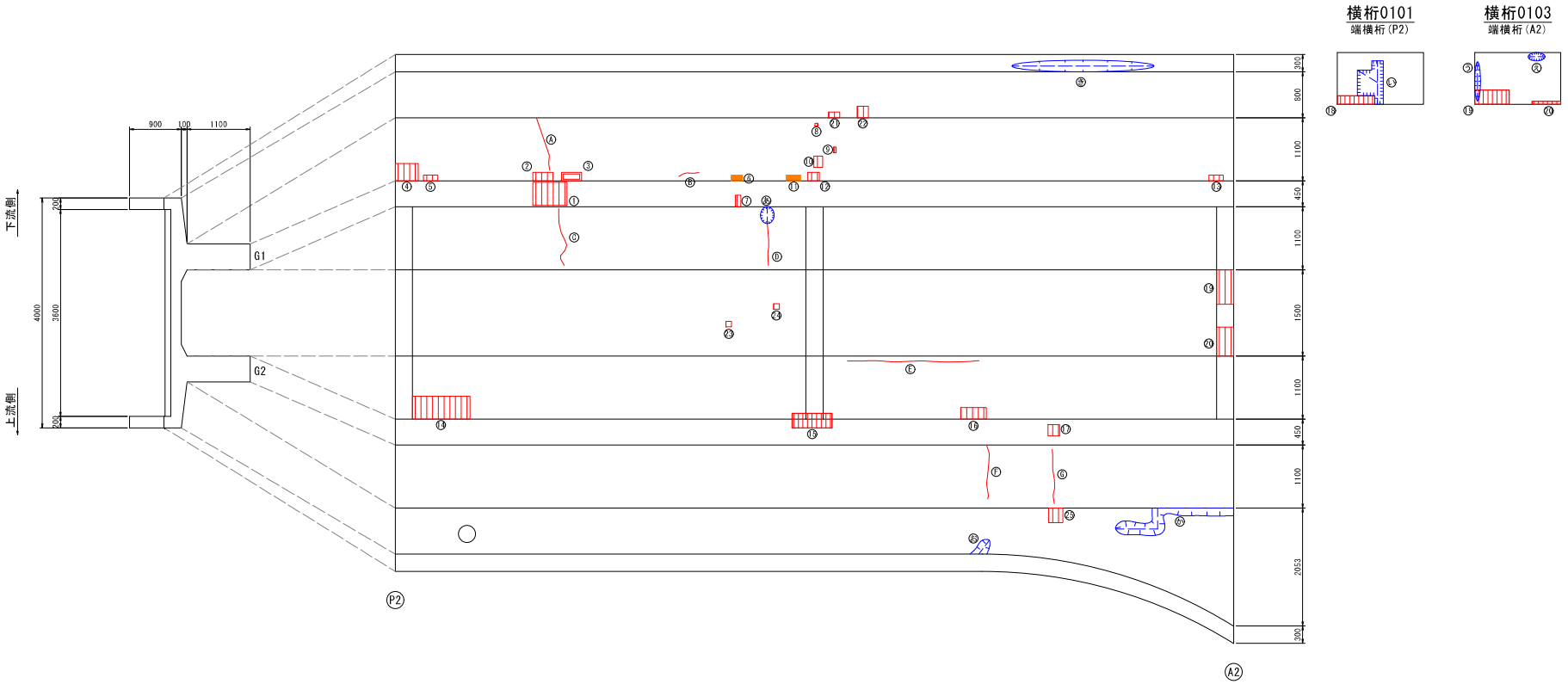
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	上部工補修詳細図（その2）		
縮尺	1:40	図面番号	4 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

上部工補修詳細図（その3） S=1:40

（久尾中央橋）

（第3径間）ひびわれ注入工，ひびわれ充填工，断面修復工



ひびわれ注入工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】
主桁0101	A	ひびわれ	0.2	950
主桁0101	B	ひびわれ	0.3	400
主桁0101	C	ひびわれ	0.3	1000
主桁0101	D	ひびわれ	0.2	750
主桁0202	E	ひびわれ	0.3	2300
主桁0202	F	ひびわれ	0.2	950
主桁0202	G	ひびわれ	0.2	950

ひびわれ充填工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】
主桁0101	あ	遊離石灰	—	300
横桁0101	い	遊離石灰	—	1200
横桁0103	う	遊離石灰	—	700
横桁0103	え	遊離石灰	—	300
床版0302	お	遊離石灰	—	300
床版0302	か	遊離石灰	—	2450
地覆0101	き	遊離石灰	—	2500

断面修復工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】	深さt【mm】	面積A【m2】	体積V【m3】
主桁0101	1	鉄筋露出	600	400	100	0.2400	0.0240
主桁0101	2	鉄筋露出	350	150	100	0.0525	0.0053
主桁0101	3	剥離	350	150	100	0.0525	0.0053
主桁0101	4	鉄筋露出	400	300	100	0.1200	0.0120
主桁0101	5	鉄筋露出	250	100	100	0.0250	0.0025
主桁0101	6	うき	200	100	100	0.0200	0.0020
主桁0101	7	鉄筋露出	200	100	100	0.0200	0.0020
主桁0101	8	鉄筋露出	50	50	100	0.0025	0.0003
主桁0101	9	鉄筋露出	50	100	100	0.0050	0.0005
主桁0101	10	鉄筋露出	150	200	100	0.0300	0.0030
主桁0101	11	うき	250	100	100	0.0250	0.0025
主桁0101	12	鉄筋露出	200	150	100	0.0300	0.0030
主桁0102	13	鉄筋露出	100	250	100	0.0250	0.0025
主桁0201	14	鉄筋露出	1000	400	100	0.4000	0.0400
主桁0201	15	鉄筋露出	700	250	100	0.1750	0.0175
主桁0202	16	鉄筋露出	200	450	100	0.0900	0.0090
主桁0202	17	鉄筋露出	200	200	100	0.0400	0.0040
横桁0101	18	鉄筋露出	650	150	100	0.0975	0.0098
横桁0103	19	鉄筋露出	550	600	100	0.3300	0.0330
横桁0103	20	鉄筋露出	350	500	100	0.1750	0.0175
床版0101	21	鉄筋露出	100	200	70	0.0200	0.0014
床版0102	22	鉄筋露出	200	200	70	0.0400	0.0028
床版0201	23	鉄筋露出	100	100	70	0.0100	0.0007
床版0201	24	鉄筋露出	100	100	70	0.0100	0.0007
床版0302	25	鉄筋露出	250	250	70	0.0625	0.0044

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		鉄筋露出		豆板	

【久尾中央橋】

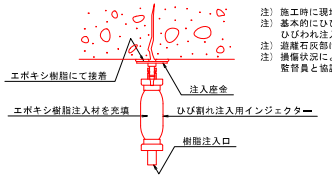
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	上部工補修詳細図（その3）		
縮尺	1:40	図面番号	5 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

上部工補修詳細図（その4）

（久尾中央橋）

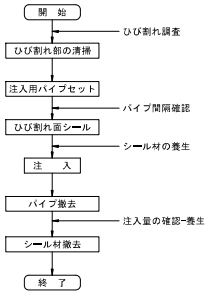
ひびわれ注入工，ひびわれ充填工，断面修復工

ひびわれ注入工詳細図



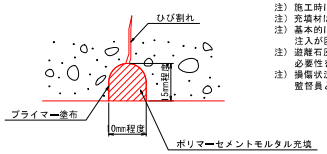
注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）基本的にひび割れ幅0.2～1.0mm以下を対象に
ひびわれ注入による補修とする。
注）遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修すること。
注）損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、
監督員と協議の上、最終決定すること。

〔ひび割れ注入工法の施工要領〕



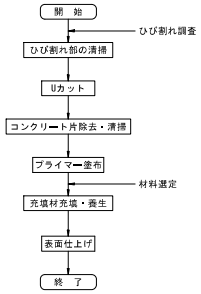
ひびわれ充填工法詳細図

（Uカット工法）

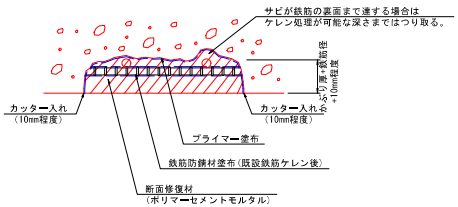


注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注）基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で
注入が困難な箇所を対象とする。
注）遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の
必要性を判断すること。
注）損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、
監督員と協議の上、最終決定すること。

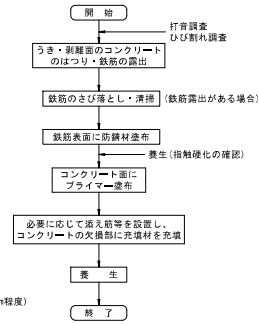
〔Uカット工法の施工要領〕



断面修復工詳細図



〔断面修復工法の施工要領〕



注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
注）補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
注）はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
注）鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の組骨材寸法程度まで除去する。（10～20mm程度）
注）はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。
注）コテ等で下地に3～5mm厚みでしごき塗りを行い、1回の塗厚20mm程度で塗り重ねていくこと。

【久尾中央橋】

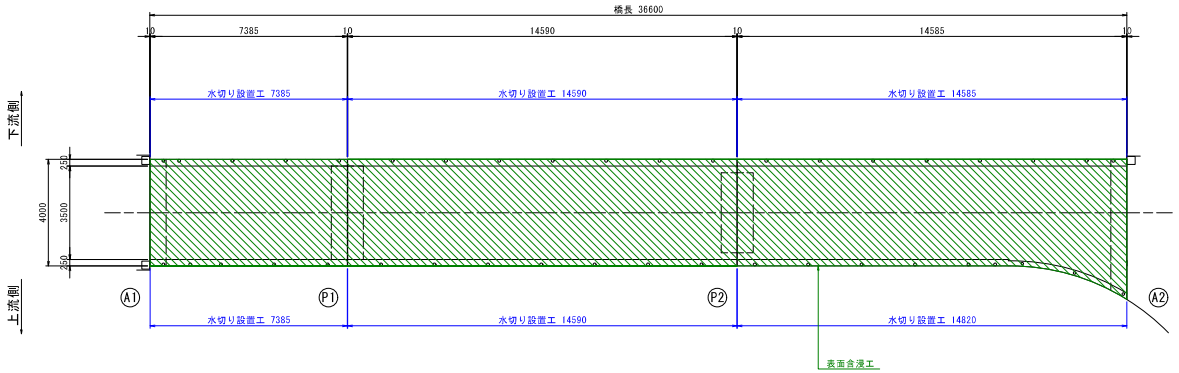
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	上部工補修詳細図（その4）		
縮尺	－	図面番号	6 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

上部工補修詳細図（その5） S=1:100

（久尾中央橋）

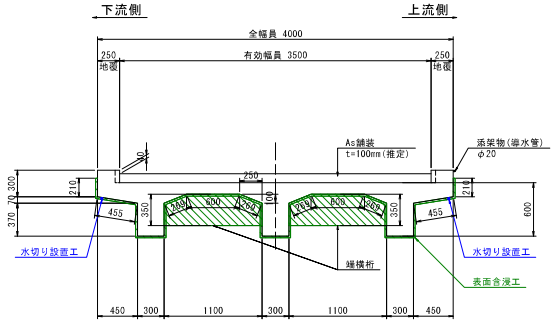
表面含浸工，水切り設置工

平面図

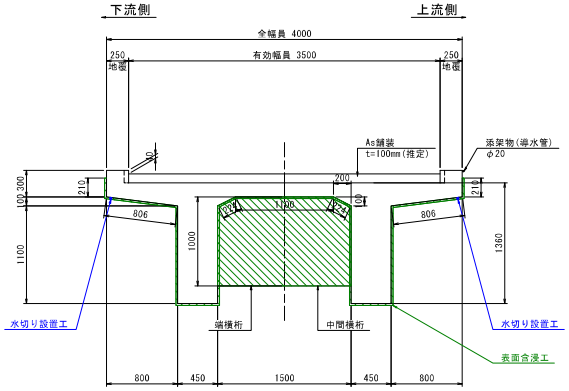


断面図 S=1:30

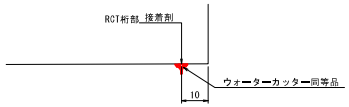
第1径間



第2・3径間



水切り設置詳細図

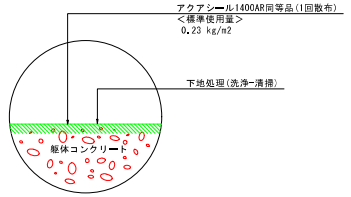


注）地覆側面からの漏水対策として、下面側へ水が流入しないように水切りを設置する。
注）施工手順について、接着性の観点から水切り設置を行った後に表面保護工の施工をすること。
（水切り設置 → 表面保護工）
注）本計画では水切り製品の「ウォーターカッター」を参考に示す。
注）「ウォーターカッター」同等品以上の水切りを設置すること。

表面含浸工詳細図

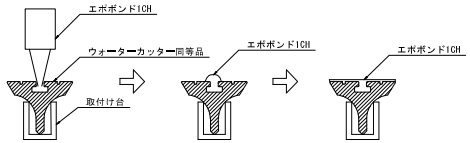
（シラン系表面含浸材）

【対象：桁下面および地覆部】



※下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、
著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについては
高圧洗浄やディスクサンダーケレンによって除去・清掃すること。
※含浸工は、「アクアシール1400AR」を参考に示すが、
別塗装品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従順すること。
※アクアシール1400ARはm2当たり0.23kgの1回散布とする。

橋梁桁端部水切り材



材料表

名　称	寸　法	重　量	材　質
ウォーターカッター同等品	W25xH20xL1000	80g/m	EPDMゴムスポンジ(ライトグレー)

【久尾中央橋】

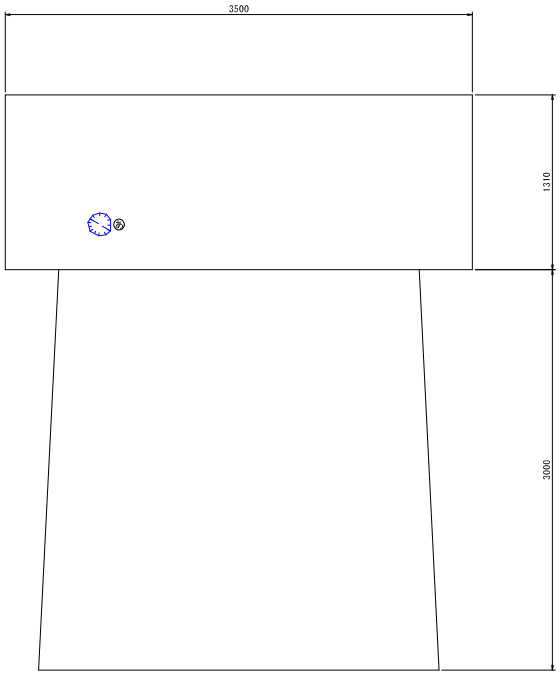
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	上部工補修詳細図（その5）		
縮尺	1:100	図面番号	7 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

下部工補修詳細図（その1） S=1:20

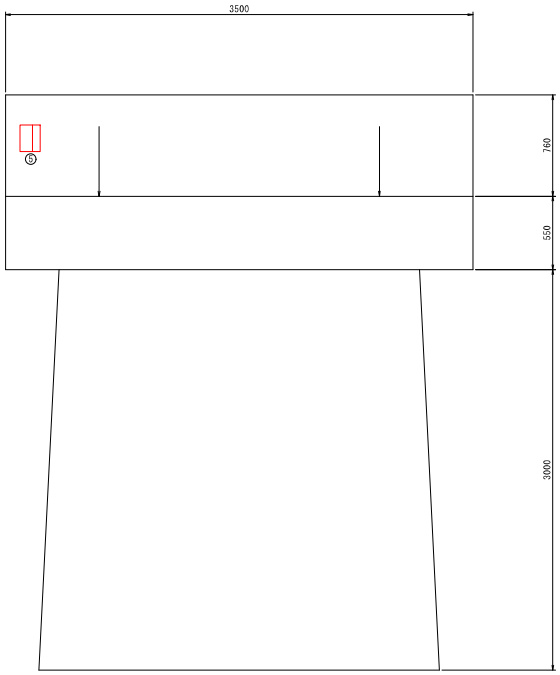
（久尾中央橋）

（P1橋脚）ひびわれ充填工，断面修復工

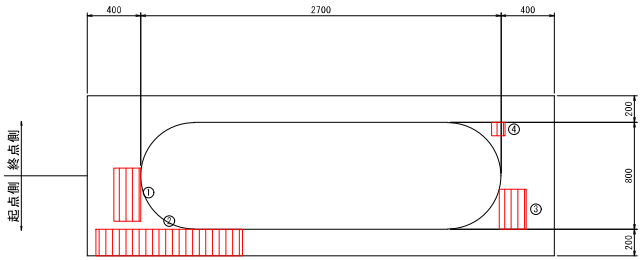
起点側



終点側



桁受下面



ひびわれ充填工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】
梁部0101	あ	遊離石灰	ー	200

断面修復工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】	深さt【mm】	面積A【m2】	体積V【m3】
梁部0101	1	鉄筋露出	200	400	120	0.0800	0.0096
梁部0101	2	鉄筋露出	1100	200	120	0.2200	0.0264
梁部0101	3	鉄筋露出	200	300	120	0.0600	0.0072
梁部0102	4	鉄筋露出	100	100	120	0.0100	0.0012
梁部0102	5	鉄筋露出	150	200	120	0.0300	0.0036

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき		すりへり	
剥離		鉄筋露出		豆板			

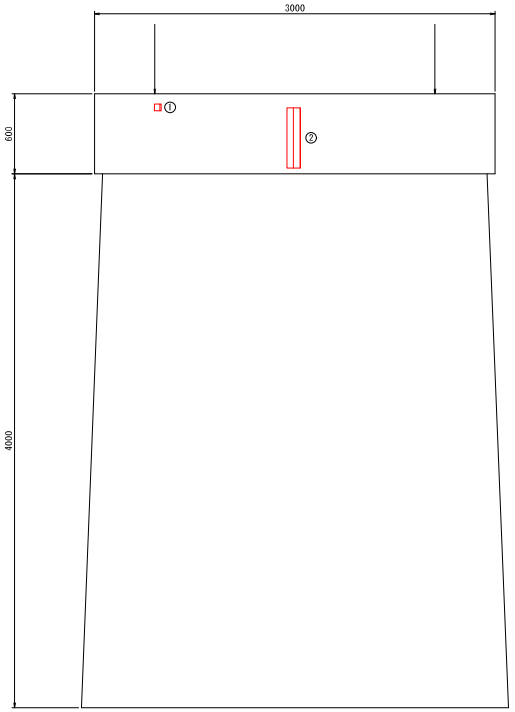
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	下部工補修詳細図（その1）		
縮尺	1:20	図面番号	8 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

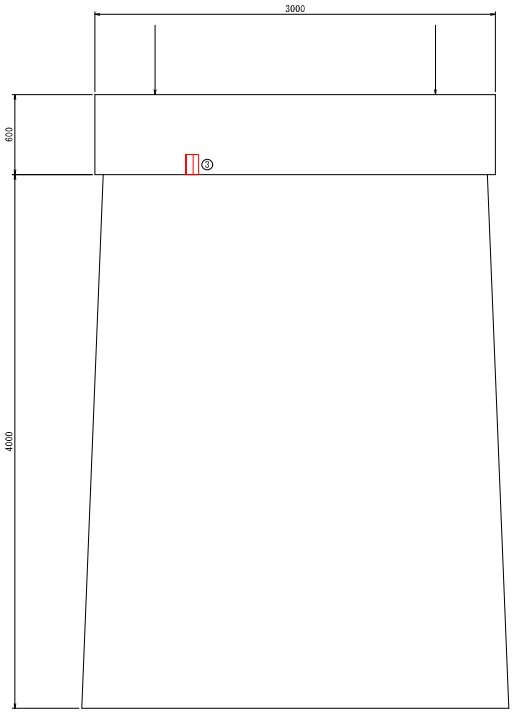
下部工補修詳細図（その2） S=1:20

（久尾中央橋）
（P2橋脚）断面修復工

起点側



終点側



断面修復工

部材名称	箇所	種別	幅W【mm】	延長L【mm】	深さt【mm】	面積A【m2】	体積V【m3】
梁部0101	1	鉄筋露出	50	50	120	0.0025	0.0003
梁部0101	2	鉄筋露出	450	100	120	0.0450	0.0054
梁部0102	3	鉄筋露出	100	150	120	0.0150	0.0018

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰		うき		すりへり	
剥離		鉄筋露出		豆板			

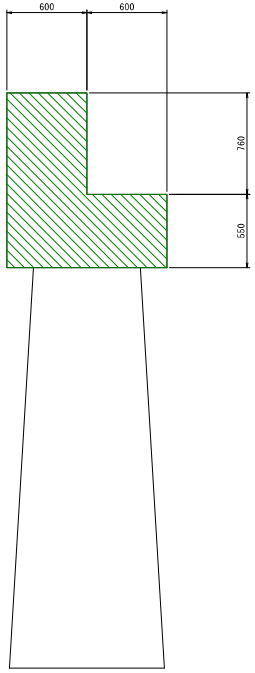
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	下部工補修詳細図（その2）		
縮尺	1:20	図面番号	9 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

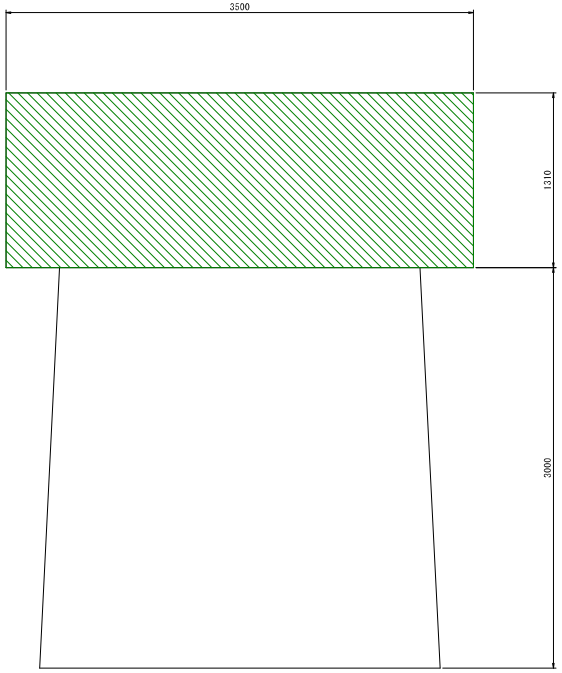
下部工補修詳細図（その3） S=1:20

（久尾中央橋）
（P1橋脚）表面保護工

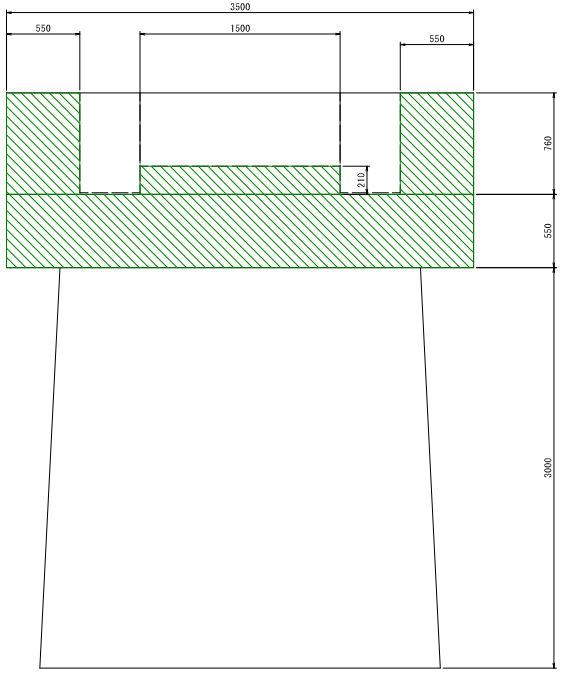
上流側



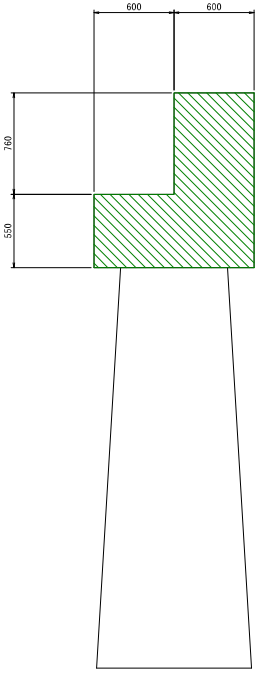
起点側



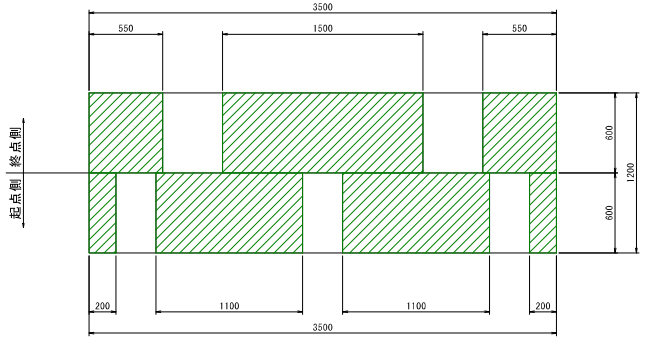
終点側



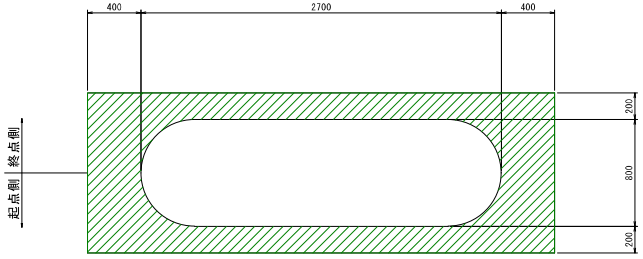
下流側



桁受面



桁受下面



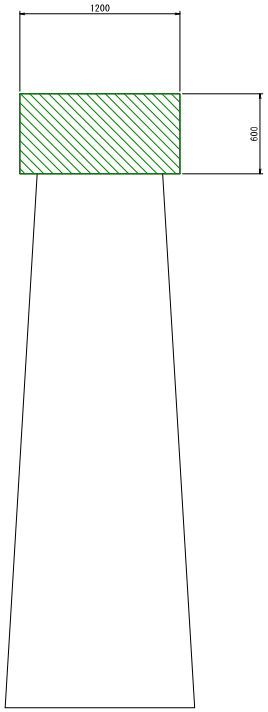
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	下部工補修詳細図（その3）		
縮尺	1:20	図面番号	10 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

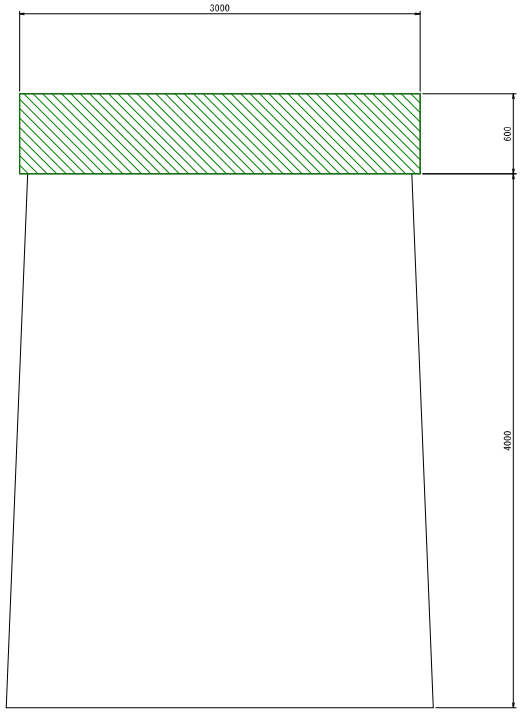
下部工補修詳細図（その4） S=1:20

（久尾中央橋）
（P2橋脚）表面保護工

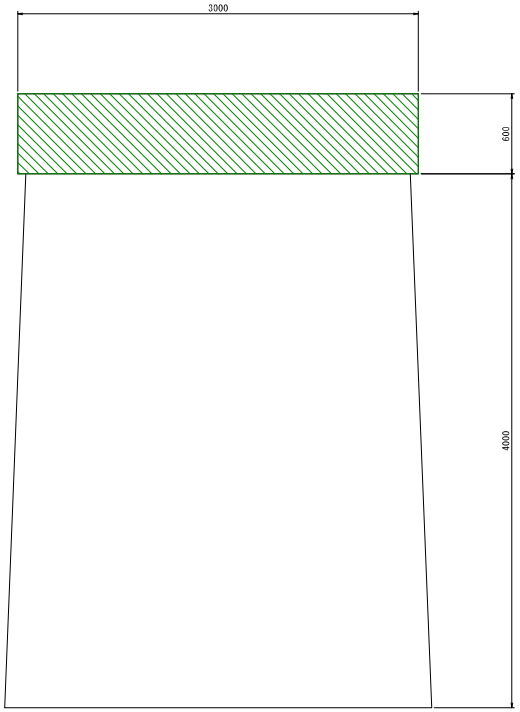
上流側



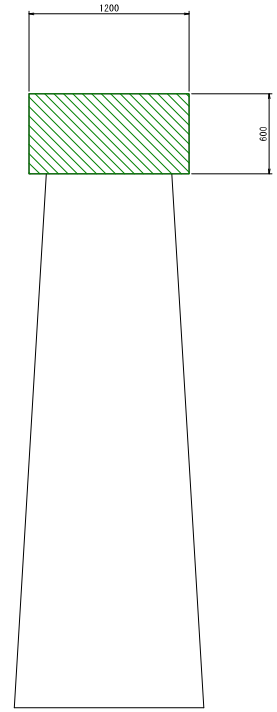
起点側



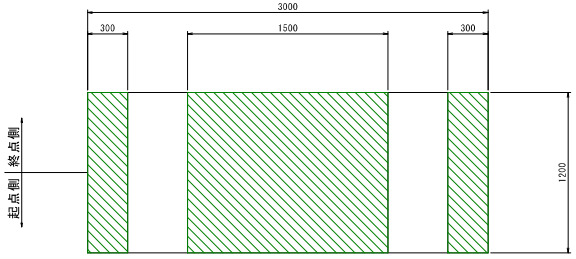
終点側



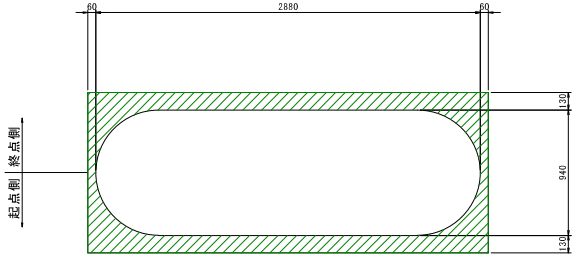
下流側



桁受面



桁受下面



【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	下部工補修詳細図（その4）		
縮尺	1:20	図面番号	11 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

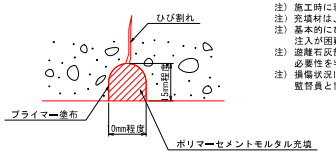
下部工補修詳細図（その5）

（久尾中央橋）

ひびわれ充填工，断面修復工，表面保護工

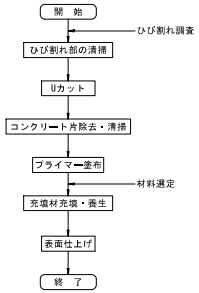
ひびわれ充填工法詳細図

（Uカット工法）

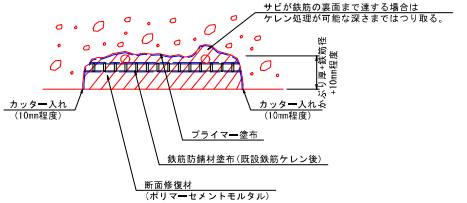


注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注）基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び道路石灰等で注入が困難な箇所を対象とする。
注）道路石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の必要性を判断すること。
注）損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

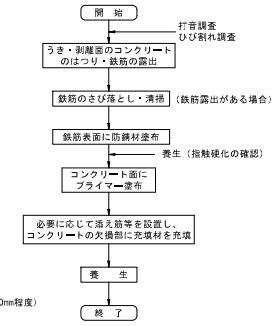
〔Uカット工法の施工要領〕



断面修復工詳細図



〔断面修復工法の施工要領〕

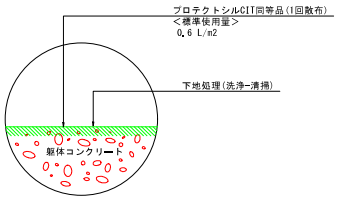


注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
注）補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
注）はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
注）鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。（10～20mm程度）
注）はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。
注）コテ等で下地に3～5mm厚みでしごき塗りを行い、1回の塗厚20mm程度で塗り重ねていくこと。

表面含浸工詳細図

（シラン系表面含浸材）

【対象：橋脚梁部】



※下地処理は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、
著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについては
高圧洗浄やディスクサンダーケレンによって除去-清掃すること。
※含浸工は、「プロテクトシルCIT」を参考に示すが、
別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従順すること。
※プロテクトシルCITは㎡当たり0.6Lの1回散布とする。

【久尾中央橋】

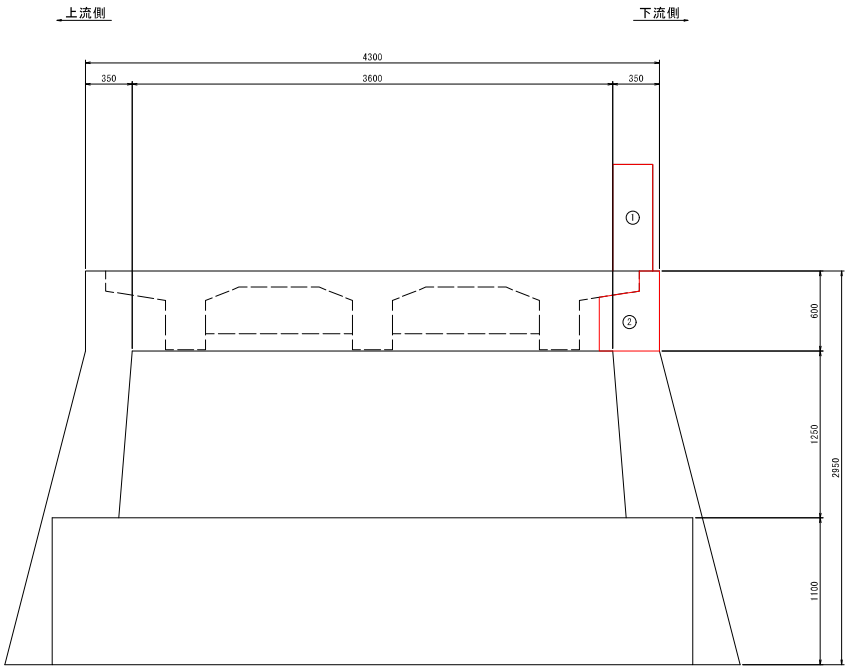
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	下部工補修詳細図（その5）		
縮尺	－	図面番号	12 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

下部工補修詳細図（その6） S=1:20

（久尾中央橋）

（A1橋台）コンクリート打換えエ

正面図

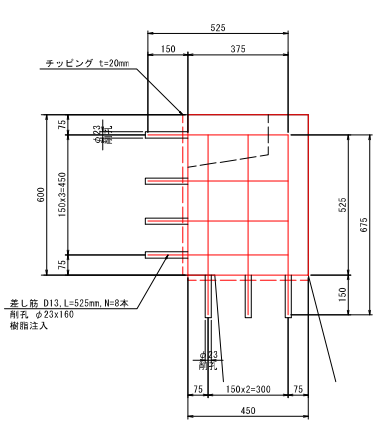


コンクリート打換えエ

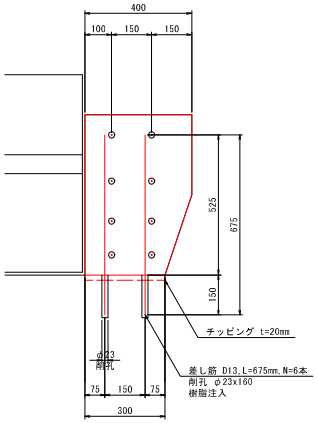
部材名称	箇所	種別	幅【mm】	奥行き【mm】	高さ【mm】	体積V【m3】
地覆0101（親柱）	1	—	300	300	800	0.072
袖擁壁0101	2	欠損	450	400	600	0.108

袖擁壁部詳細図 S=1:10

正面図



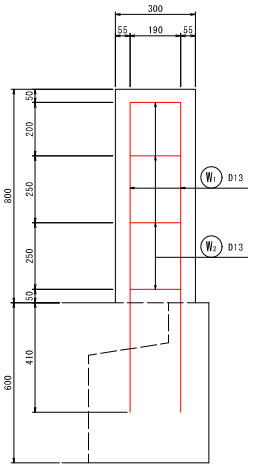
側面図



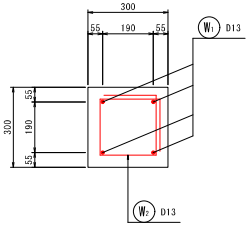
注1）施工時に現地実測の上、削孔位置を決定すること。
注2）鉄筋のかぶりは40mm以上確保すること。
注3）差し筋については、定着長を10d以上確保すること。

親柱詳細図 S=1:10

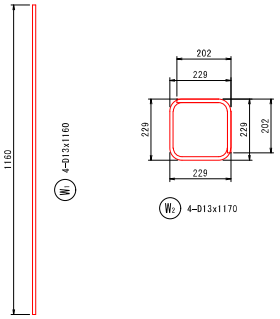
正面図



断面図



鉄筋加工図



鉄筋質量表（SD345）

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
W1	D13	1160	4	0.995	1.15	5	
W2	D13	1170	4	0.995	1.16	5	
						10	
合計	D13					10 kg	
総質量						10 kg	

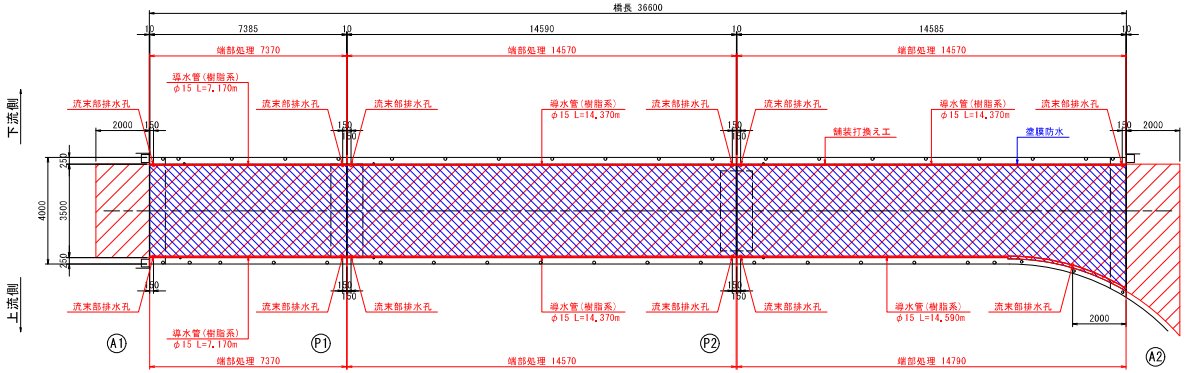
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	下部工補修詳細図（その6）		
縮尺	1:20	図面番号	13 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

橋面補修詳細図 S=1:100

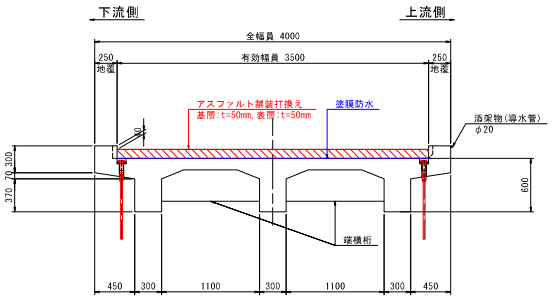
（久尾中央橋）

平面図

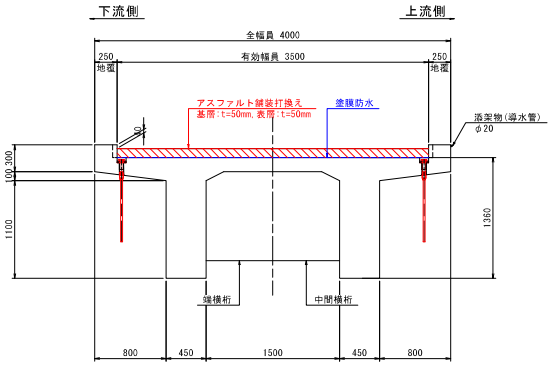


上部工断面図 S=1:30

第1径間

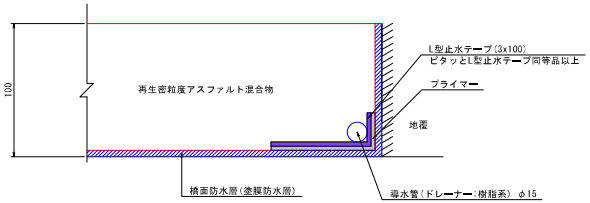


第2・3径間



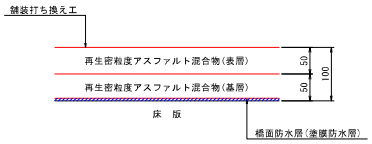
端部処理詳細図 S=1:2

地覆部

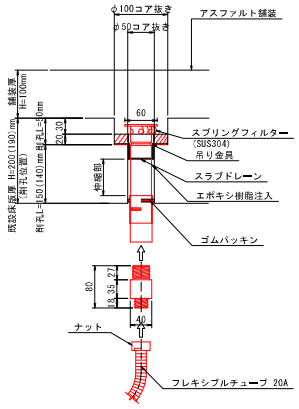


舗装及び防水層構成図 S=1:5

車道部・路肩部

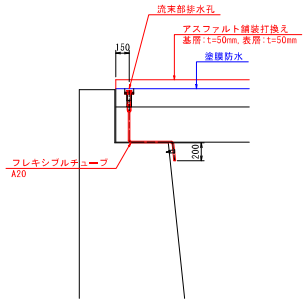


床版削孔詳細図 S=1:5



注）（ ）内は第2・3径間の寸法を示す。

流末部詳細図 S=1:30



フレキシブルチューブ

			フレキシブルチューブ延長 [m]
第1径間	A1	上流側	1.1
		下流側	1.1
	P1	上流側	1.1
		下流側	1.1
第2径間	P1	上流側	1.9
		下流側	1.9
	P2	上流側	1.9
		下流側	1.9
第3径間	P2	上流側	1.9
		下流側	1.9
	A2	上流側	0.2
		下流側	1.9

注1）代表してA1橋台の流末部詳細図を示す。
注2）A2橋台上流側のフレキシブルチューブについては、垂れ流し形式とする。

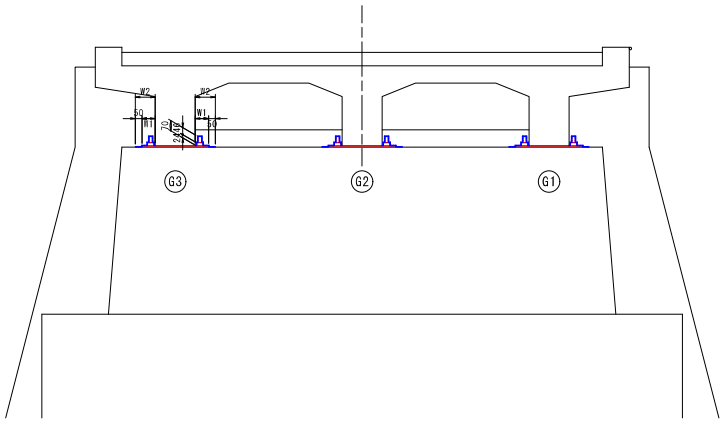
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	橋面補修詳細図		
縮尺	1:100	図面番号	14 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

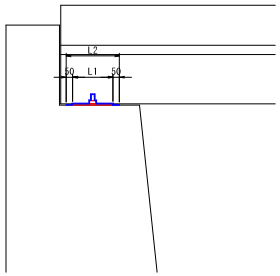
支承防錆工詳細図（その1） S=1:20

（久尾中央橋）

正面図



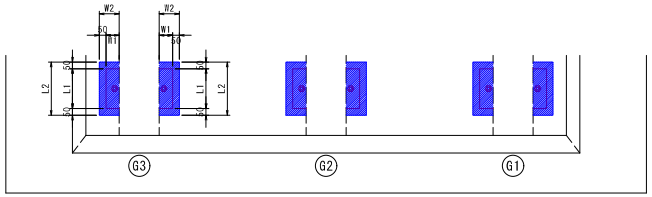
側面図



		W1(mm)	W2(mm)	L1(mm)	L2(mm)
A1		100	150	300	400
P1	起点側	100	150	300	400

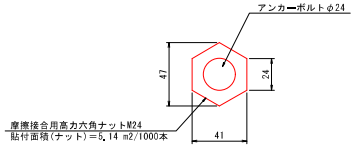
注1)G1およびG2、G3の支承の形状は同様とする。
注2)下部工の形状については、代表してA1橋台を示す。

平面図

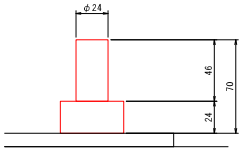


アンカー部詳細図 S=1:2

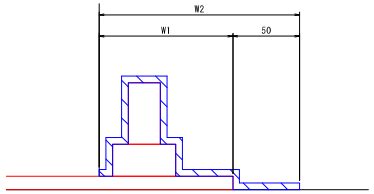
平面図



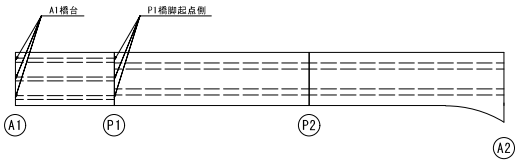
側面図



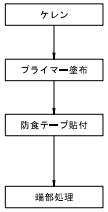
貼り付け範囲



支承位置図 S=1:200



防食テープ設置　フロー図



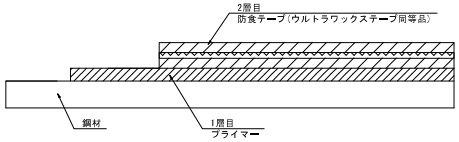
スクレーパー等で浮き錆の除去を行った後、
ワイヤーブラシ等で施工面の埃・砂などのゴミを取り除く。

専用プライマーを施工面全体に均一に塗布する。
※目安塗布量 340g/m2　※手袋着用のこと

防食テープを施工範囲へ貼付け、しっかりと圧着する。
複雑な形状においてはハサミ等で加工し、形状に沿って施工する。
※防食テープを重ねる際は30mm以上のラップ幅を確保する
※貼付け時シートを引っ張って伸ばさないこと

端部・継ぎ目においてはシートを潰すように圧着し、浮きがないことを確認する。
最後に、シート端部およびシート表面に付着したプライマーを拭き取る。

防食テープ詳細図



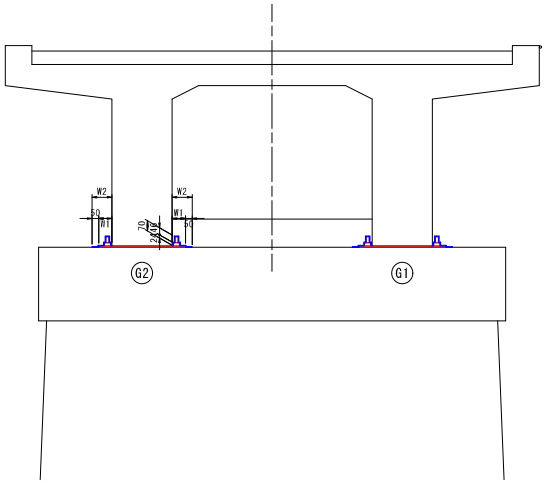
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	支承防錆工詳細図（その1）		
縮尺	1:20	図面番号	15 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

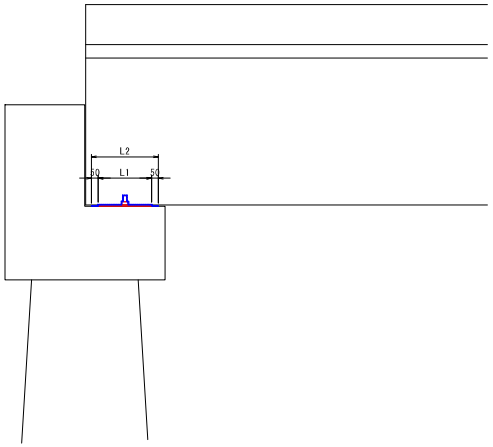
支承防錆工詳細図（その2） S=1:20

（久尾中央橋）

正面図



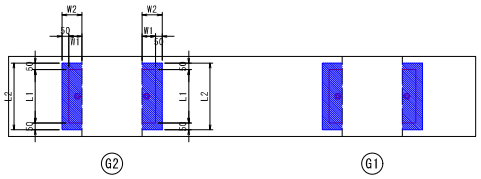
側面図



		W1(mm)	W2(mm)	L1(mm)	L2(mm)
P1	終点側	100	150	400	500
P2	起点側	100	150	400	500
	終点側	100	150	440	540
A2		100	150	400	500

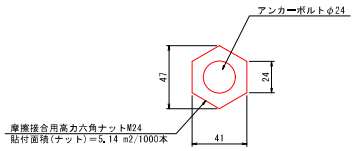
注1）G1およびG2の支承の形状は同様とする。
注2）下部工の形状については、代表してP1橋脚を示す。

平面図

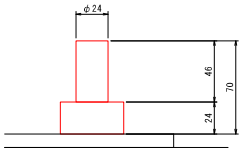


アンカー部詳細図 S=1:2

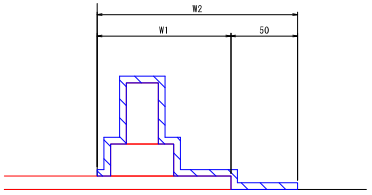
平面図



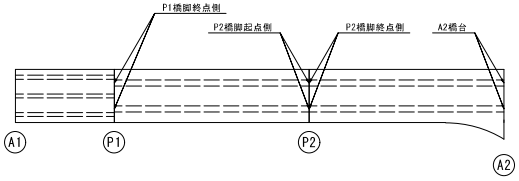
側面図



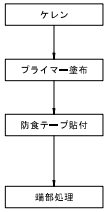
貼り付け範囲



支承位置図 S=1:200



防食テープ設置　フロー図



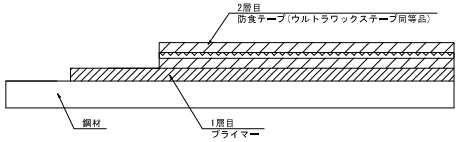
スクレーパー等で浮き錆の除去を行った後、
ワイヤーブラシ等で施工面の埃・砂などのゴミを取り除く。

専用プライマーを施工面全体に均一に塗布する。
※目安塗布量 340g/m2　※手袋着用のこと

防食テープを施工範囲へ貼付け、しっかりと圧着する。
複雑な形状においてはハサミ等で加工し、形状に沿って施工する。
※防食テープを重ねる際は30mm以上のラップ幅を確保する
※貼付け時シートを引っ張って伸ばさないこと

端部・巻ぎ目においてはシートを潰すように圧着し、浮きがないことを確認する。
最後に、シート端部およびシート表面に付着したプライマーを拭き取る。

防食テープ詳細図



【久尾中央橋】

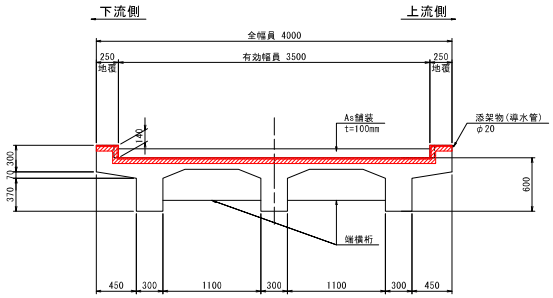
工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	支承防錆工詳細図（その2）		
縮尺	1:20	図面番号	16 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

伸縮装置補修詳細図 S=1:30

（久尾中央橋）

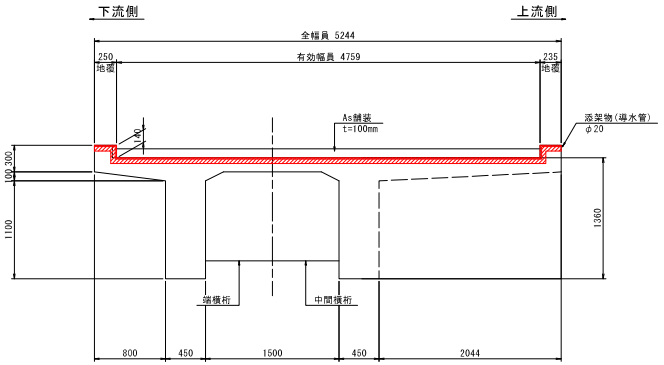
上部工断面図

A1橋台，P1橋脚，P2橋脚部



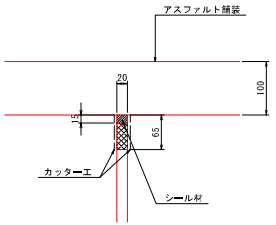
注）主桁および床版については、第1径間の断面図を示す。

A2橋台部

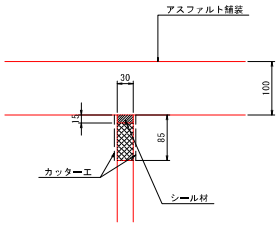


遊間処理断面図 S=1:5

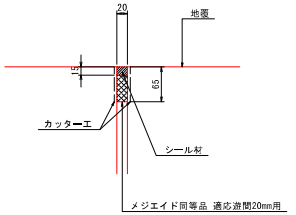
橋台車道部



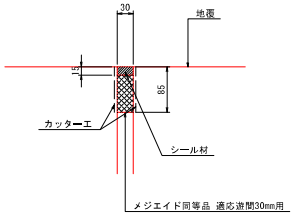
橋脚車道部



橋台地覆部

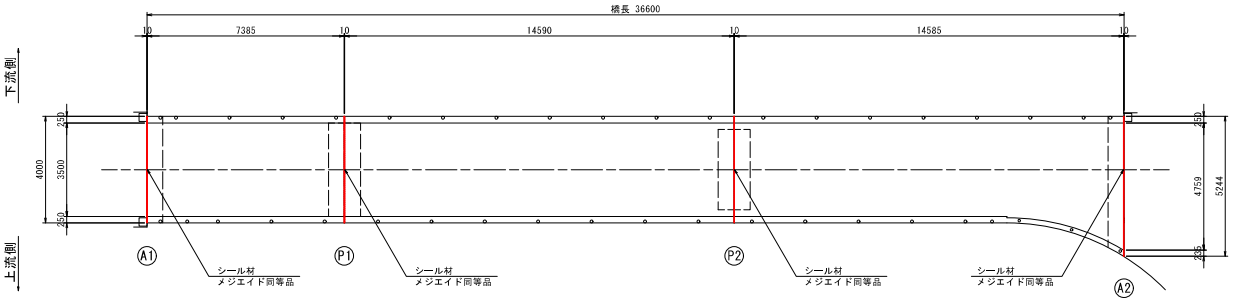


橋脚地覆部



注1）仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2）既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。
注3）カッターエは現況の遊間で設置できない場合に適用すること。

平面図 S=1:100



設計条件

名称	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	A2橋台
温度範囲	-5℃～+35℃	-5℃～+35℃	-5℃～+35℃	-5℃～+35℃
温度変化伸縮量	1.50mm	2.90mm	2.90mm	0.00mm
常時設計伸縮量	14.60mm	21.40mm	24.90mm	19.00mm
地震時移動量	—	—	—	—

注）支承条件が不明であるため、常時設計伸縮量については算出した値の最大値を示す。

数量表

名称	品名または仕様	単位	数量	備考
施工延長	—	m	18.364	
シール材	シリコン系	m	18.364	使用量 6.793L
止水材	メジエイド同等品（適用遊間20mm用）	m	9.804	橋台部
	メジエイド同等品（適用遊間30mm用）	m	8.560	橋脚部

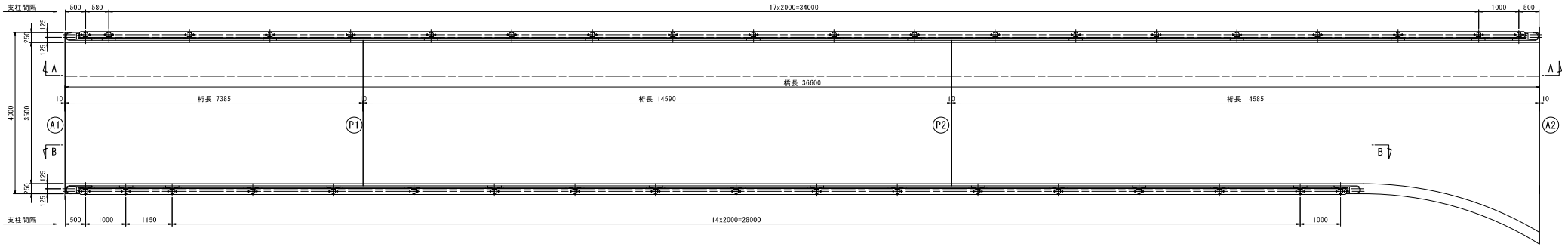
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	伸縮装置補修詳細図		
縮尺	1:30	図面番号	17 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

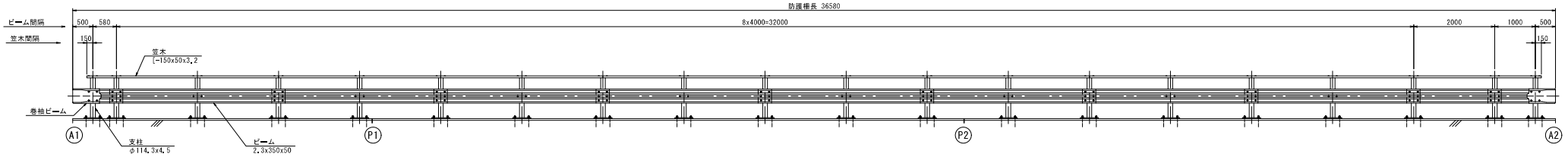
防護柵取替工詳細図(その1) S=1:50

(久尾中央橋)

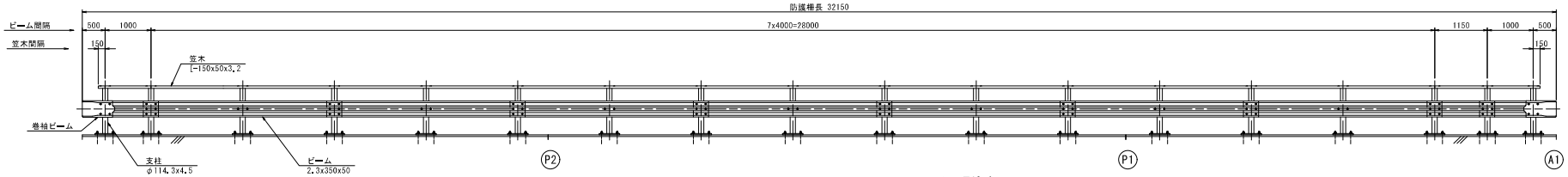
平面図



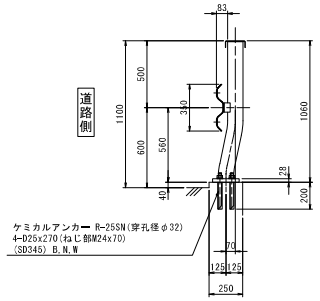
A-A 矢視図



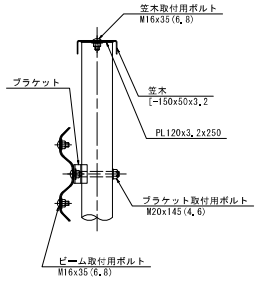
B-B 矢視図



断面図 S=1:20



取付詳細図 S=1:10



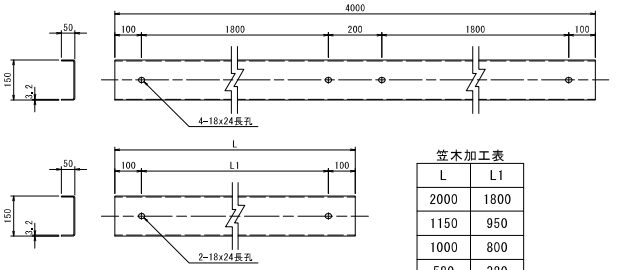
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	防護柵取替工詳細図(その1)		
縮尺	1:50	図面番号	18 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

防護柵取替工詳細図(その2) S=1:10

(久尾中央橋)

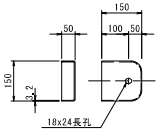
笠木



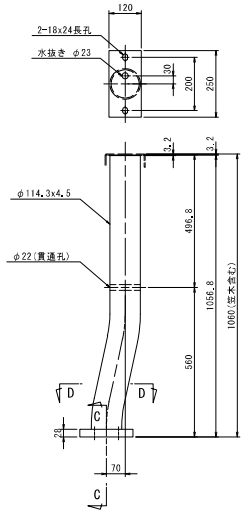
笠木加工表

L	L1
2000	1800
1150	950
1000	800
580	380

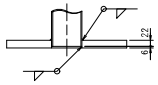
端部笠木



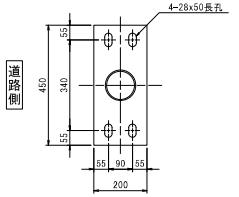
支柱



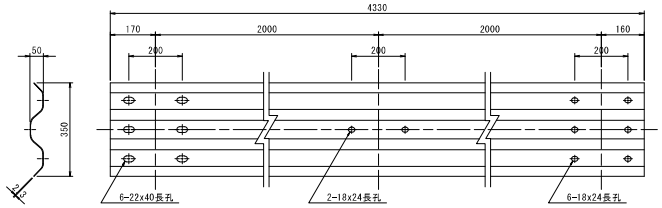
C-C 断面図

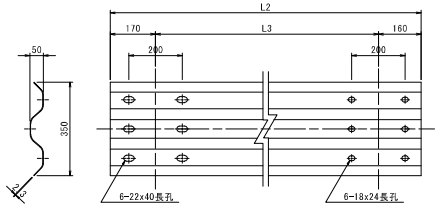


D-D 断面図



ビーム

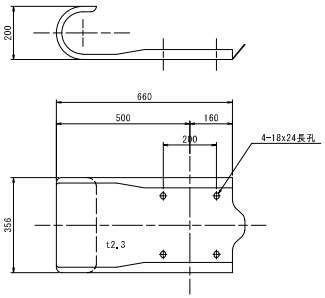




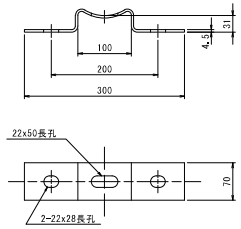
ビーム加工表

L2	L3
2330	2000
1480	1150
1330	1000
910	580

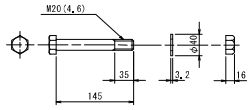
巻袖ビーム



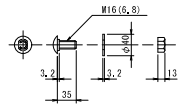
ブラケット S=1:5



ブラケット取付用ボルト S=1:5



笠木・ビーム取付用ボルト S=1:5



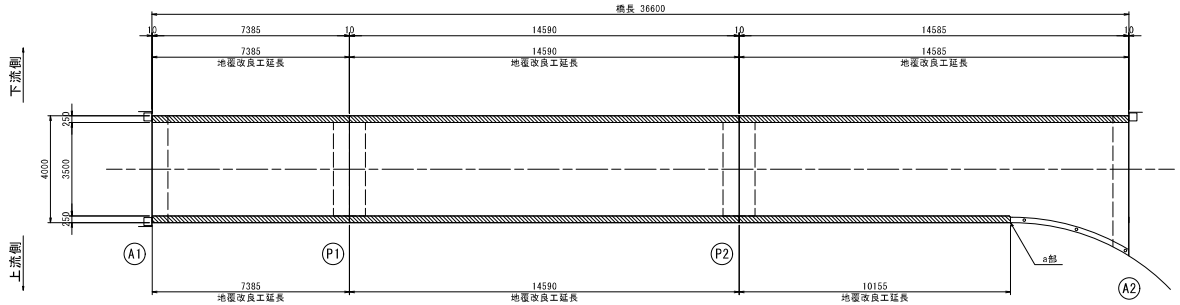
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	防護柵取替工詳細図(その2)		
縮尺	1:10	図面番号	19 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

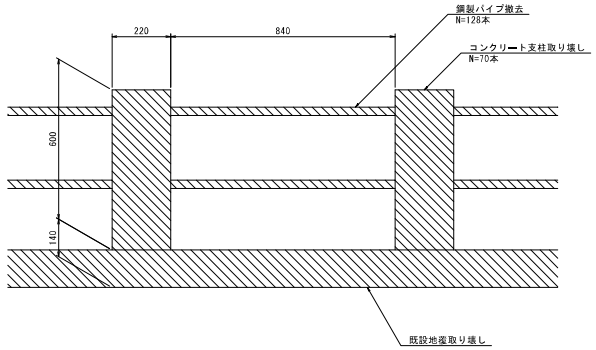
防護柵取替工詳細図（その3） S=1:100

（久尾中央橋）
地覆部改良工

平面図

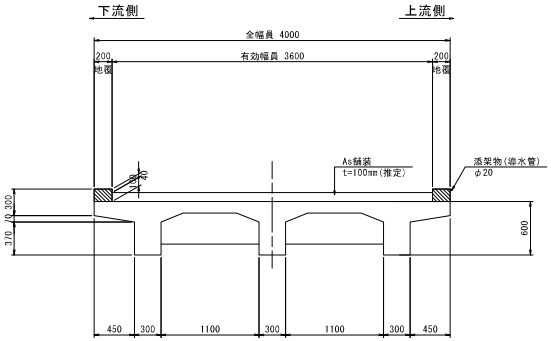


既設防護柵撤去図 S=1:10

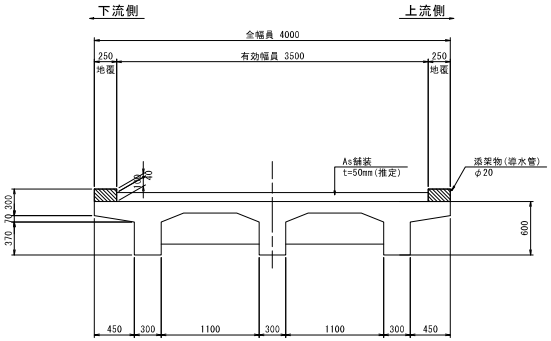


上部工断面図 S=1:30

施工前



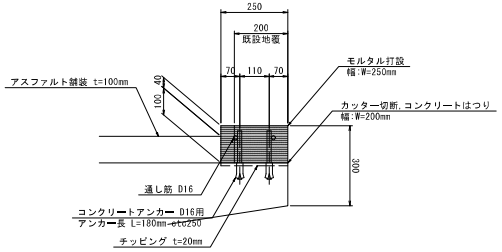
施工後



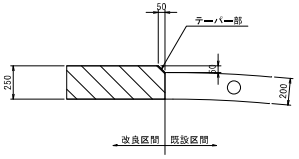
注）代表して、第1径間の上部工断面図を示す。

地覆部詳細図

断面図 S=1:10



a部 S=1:20



注1）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注2）コンクリートアンカーは、新設防護柵アンカーおよび既設地覆の鉄筋と干渉しない位置に設置すること。

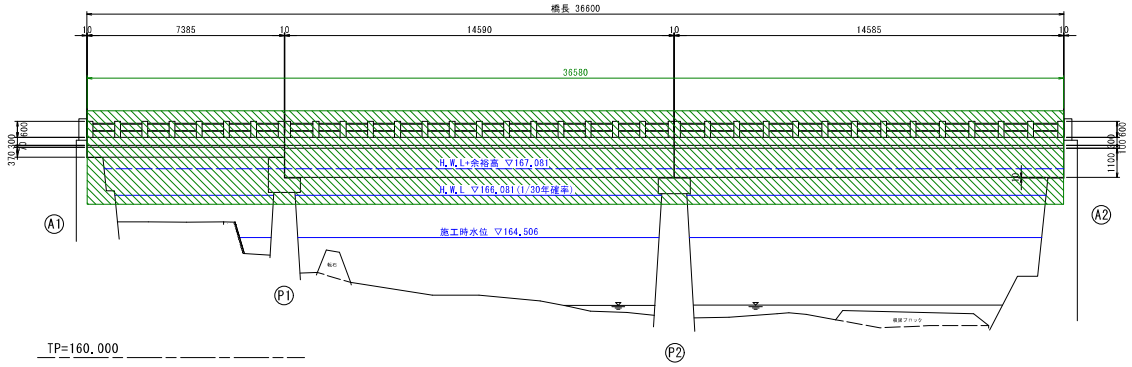
【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	防護柵取替工詳細図（その3）		
縮尺	1:100	図面番号	20 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

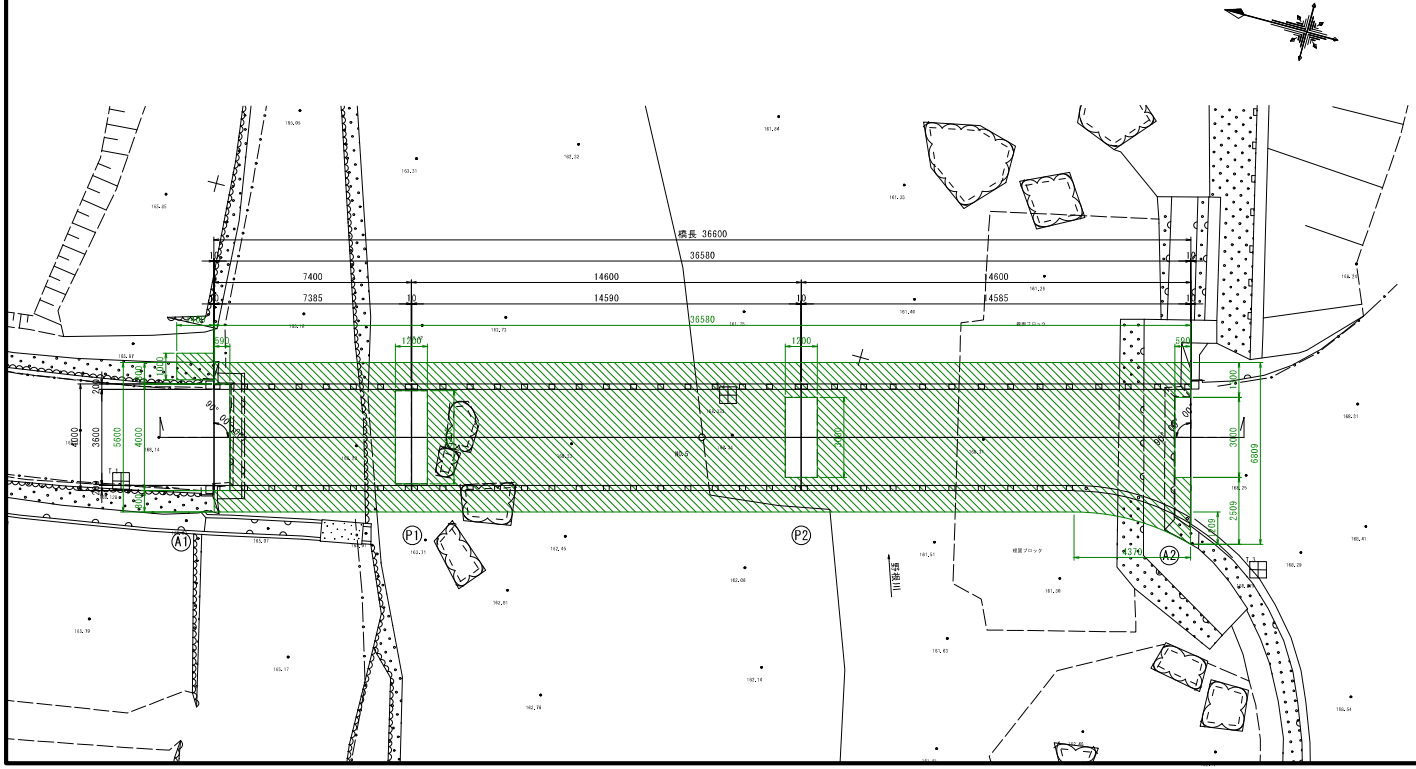
施工計画図 S=1:100

（久尾中央橋）

側面図

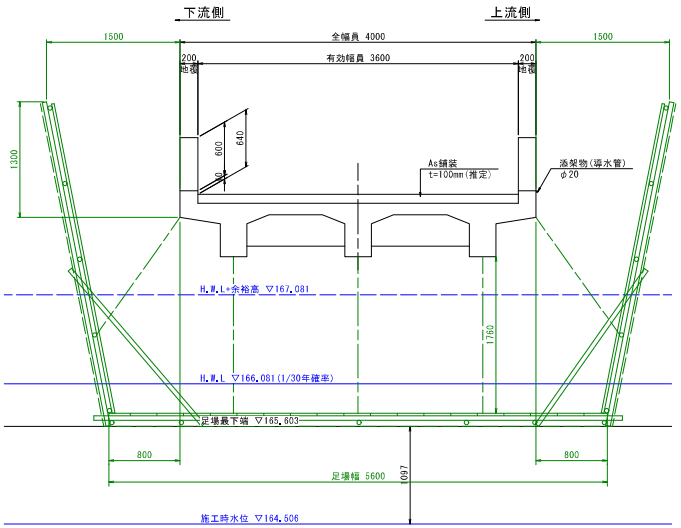


平面図

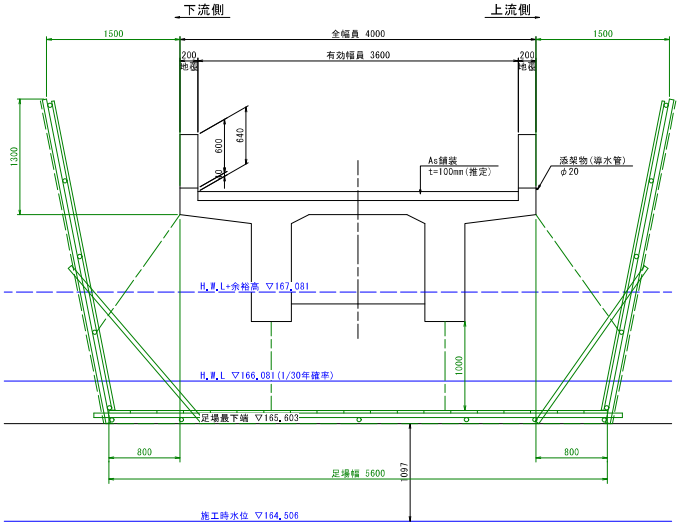


上部工断面図 S=1:30

第1径間



第2・3径間



【久尾中央橋】

工事名	R7海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道吹越線		
工事箇所	海陽町久尾字久尾		
図面名	施工計画図		
縮尺	1:100	図面番号	21 / 21
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		